

「岐阜市多文化共生推進基本計画－たぶんかマスタープラン 2025～2029－（案）」

に対するご意見とそれに対する岐阜市の考え方

意見募集期間 令和6年12月13日 ～ 令和7年1月14日

意見提出数 1通（直接提出：0通、郵送：0通、ファクシミリ：0通、電子メール：0通、意見提出フォーム：1通）

意見項目数 4件

項目	該当箇所	いただいたご意見の概要	岐阜市の考え方	変更の有無
1	概要版 2 ページ	「やさしい日本語」について。「やさしい日本語」の普及はとても素晴らしいですが、市役所職員の方にはあまり浸透していないように感じています。	計画 58 ページに記載のとおり、各部に多文化共生推進リーダーを設置し、全庁的に多文化共生の推進に取り組むこととしています。	無
2	概要版 2 ページ	「日本語学習支援体制の整備」について。外国人市民は増加傾向にあると思いますが、ボランティア教室だけでは許容しきれない状況が来るのではないのでしょうか。金銭面、人材面を含め支援や取組みを図るべきと思います。	計画 43 ページの「これからの展開」に記載のとおり、日本語学習支援体制の整備については、（公財）岐阜市国際交流協会や市内の日本語ボランティア教室と連携を図りながら取り組むこととしています。	無
3	概要版 2 ページ 計画 42 ページ	「岐阜市外国人向け生活情報ホームページ」について。アクセス数 7,500 件の根拠は何でしょうか？また、TOP ページを覗いただけでも 1 件に数えますか？具体的なニーズの把握には、TOP ページから派生するサブページのアクセス数に注目すべきと思います。	岐阜市外国人向け生活情報ホームページアクセス数の令和 11 年度目標値は、本市における外国人市民の増加を見据え設定したものです。 また、目標値はトップページの閲覧数でカウントしていますが、ご指摘のとおり、各ページのアクセス数も把握し、効果的な情報発信に努めてまいります。	無
4	計画全体	プランについて。外国の方にとって市役所は、行政手続きをする場所程度の認識しかなく、こういったプランを知らない方が多いと思います。このプランの理念を実現させるためには、更に周知を強め、国籍問わず協力関係を構築してほしいです。	計画 40 ページから 42 ページに記載のとおり、様々な媒体や方法を通じて、外国人市民への計画及び計画にかかる取組の周知に努めることとしています。	無